

慢性痛
急性痛

藤井洋泉先生の今月のカルテ

vol.83

ペインクリニックの現場から

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生と藤井洋泉先生が、痛みの治療や緩和についての情報を届けてくれる「ペインクリニックの現場から」。今回から2回にわたり、痛みを軽くし、血流改善の効果がある交感神経ブロックについて話をしてくれま



■プロフィール ふじい・ひろみ 平成2年岡山大学医学部卒業後、同大学医学部麻酔科蘇生科入局、岡山労災病院麻酔科、岡山大学医学部附属病院麻酔科蘇生科などを経て平成19年から現職。日本麻酔学会指導医。日本ペインクリニック学会認定医。現在、国際疼痛学会、日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会などに所属

神経は大きく分ける（血管にある筋肉で血管を収縮・拡張する）など、脳神経、脊（せき）髄を支配しています。交感神経は活動性の神経で、脈拍を増やす、血圧を上げる、呼吸を早くする、発汗させる、筋肉を緊張させるなどの働きをします。副交感神経は、逆に抑制性の神経で、脈拍を減らし、血圧を下げたり、筋肉の緊張を和らげたりします。このように反対の作用を持つ2つの神経で体のバランスが維持されています。

痛みの悪循環が起ります。正座の後の足のしびれによる痛み、内臓の痛み（がんの痛みなど）も交感神経が伝えているのです。交感神経ブロックは、局所麻酔薬を交感神経に注射し、血管を拡張させて血流を改善させたり、痛みの伝導をブロックさせたりすることにより痛みを軽減させる治療法です。交感神経ブロックには、効果が一時的な局所麻酔薬によるブロックとは異なり、効果が得られるブロックがあります。局所麻酔薬によるブロックは、効果の有無を部位によりブロックする

みえるテストブロックや、繰り返すことで痛みを軽くする目的で使われます。長期間の効果が得られる方法には、神経破壊薬（エタノールやフェノールグリセリン）を注入する方法と、高周波熱凝固法があります。交感神経は、脊椎の前側面の頸椎（けいつい）から仙骨まで鎖状につながり、交感神経幹を形成しています。交感神経は、部位により支配している体の場所が決まっています。頸部の交感神経は頭部・顔面、胸部は上肢を、腰部は下肢を支配しています。上腹部の内臓は、腰椎の腹側にある交感神経の一つである腹腔神経叢（そう）が支配しています。そのため痛みの部位によりブロックする

痛みの伝導をブロックすることで痛みを軽減「交感神経ブロック」
脊柱管狭窄症、帯状疱疹など、適応する疾患は多数

◆お答えは、梶木病院（北区西花尻）の藤井先生です。☎086(29)33055代